



都市整備

都市整備行政



朝長 英美 議員

本市における公園の駐車場整備の実態は、どうなっているのか。また、森園公園に児童遊具を設置することはできないのか。また、総合運動公園の利用料金を見直す必要があるのではないか。

答

本市における53の都市公園のうち、駐車場を整備しているのは14公園である。また、森園公園への遊具の設置については、現在、森園公園再整備計画が凍結状態であるため、答えることはできない。また、総合運動公園の利用料金については、近隣の施設等の使用料を勘案し、大村市体育施設条例で定めているため、見直す考えはない。



都市整備

都市計画道路 古賀島沖田線の早期着工



水上 亨 議員

古賀島沖田線は、平成2年に富の原小学校前から郡コミセンまでの延長1,585mが供用開始となった。残り870mの未整備区間には、平成30年4月に移転開校する県立ろう学校が隣接し、都市計画では文教ゾーンとなる。また、九州新幹線西九州ルート車両基地に隣接するJR大村線には新駅が設置される。まさに本線は、都市計画道路として整備する重要度が高いため、早期に着工すべきである。

答

長期未着手の都市計画道路については、平成22年度に見直しを行い、おおむね10年以内に着手すべき区間として公表し、この方針に基づき整備を進めている。32年度には未整備区間の再評価を行い、整備順位等の方針を作成することとしている。古賀島沖田線についても、市民や関係者の意見を伺いながら、新たに着手すべき区間とすかどうかの方針を32年度をめどに決定したい。次期計画の見直しでは、最優先で検討したい。



行財政・一般

大村バスターミナルビルの建て替え



山北 正久 議員

昭和49年9月に完成した大村バスターミナルビルは、地下1階、地上6階建てで、大村市の公共交通の拠点として、また、ホテルを有するオフィスビルとして、今なお多くの市民に利用されている。しかし、築43年が経過し、老朽化と耐震不足の問題で解体を余儀なくされている中、解体時期と解体後の利用について、関係者との協議はなされているのか尋ねる。

答

大村バスターミナルビルを含む大村駅周辺は、本市の都市拠点として重要な地域と認識している。現在、ビルの所有者である大村商工会議所、大村バスターミナルビル株式会社、長崎空港観光ホテル株式会社、長崎県交通局と意見交換を行っており、今後の方向性を早急に示せるよう、所有者と引き続き協議を重ねていきたい。



都市整備

新幹線工事



村上 信行 議員

平成29年9月議会で柴田地区に現場詰所と担当者の配置を要望したが、実現したのか。また、工事説明会において、休日・夜間等の施工は行わないと地元と約束されたにも関わらず、発電機とポンプが使用され、体調不良を訴える住民が発生した。朝令暮改の暴挙を改めさせ、今後の施工においては、住民との連絡体制を確立すべきではないか。

答

現場詰所については、10月に設置された。また、休日等に作業は行わないと事前の説明したにも関わらず、このような事案が発生したことは、市としても大変遺憾に思っている。今後、工程の都合で休日等の作業が必要なときは、事前連絡を徹底し、現場代理人等を配置した上で作業を進めさせるようにし、連絡体制についても確立したいと考えている。